

平成30年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート集計結果

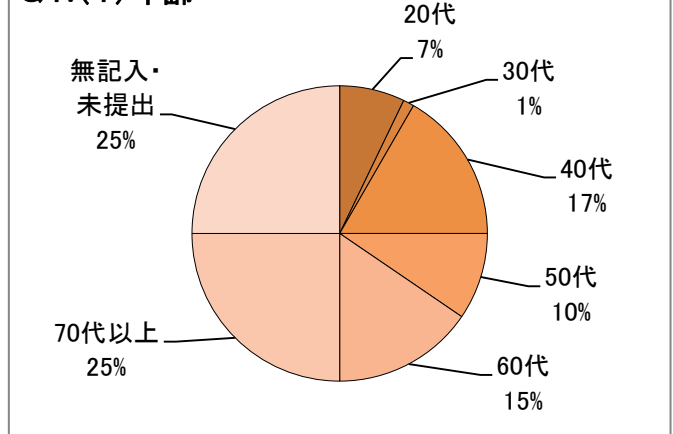
・参加者	84人
・アンケート回収数	57枚
・回収率	67.9%

Q1. 参加者の属性

(1) 年齢

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	10代	0	0.0%
2	20代	6	7.1%
3	30代	1	1.2%
4	40代	14	16.7%
5	50代	8	9.5%
6	60代	13	15.5%
7	70代以上	21	25.0%
8	無記入・未提出	21	25.0%
合計		84	100.0%

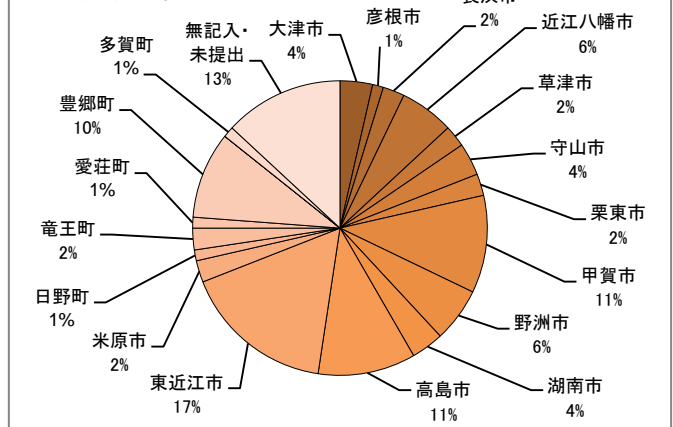
Q1.(1) 年齢



(2) お住まい

	市町名	人数(人)	割合(%)
1	大津市	3	3.6%
2	彦根市	1	1.2%
3	長浜市	2	2.4%
4	近江八幡市	5	6.0%
5	草津市	2	2.4%
6	守山市	3	3.6%
7	栗東市	2	2.4%
8	甲賀市	9	10.7%
9	野洲市	5	6.0%
10	湖南市	3	3.6%
11	高島市	9	10.7%
12	東近江市	14	16.7%
13	米原市	2	2.4%
14	日野町	1	1.2%
15	竜王町	2	2.4%
16	愛荘町	1	1.2%
17	豊郷町	8	9.5%
18	甲良町	0	0.0%
19	多賀町	1	1.2%
20	無記入・未提出	11	13.1%
合計		84	100.0%

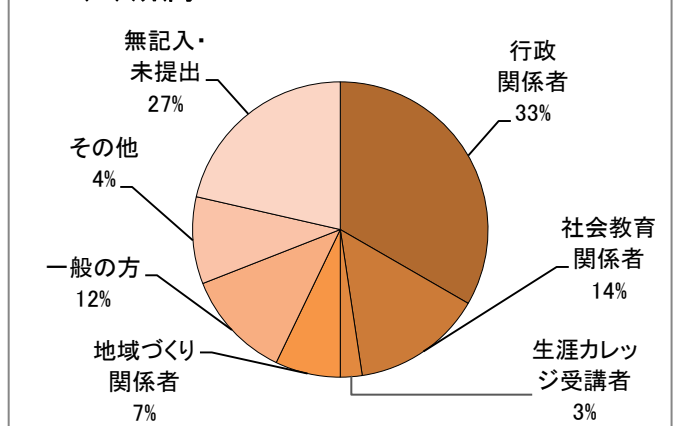
Q1.(2) お住まい



(3) 所属

	年齢	人数(人)	割合(%)
1	行政関係者	28	33.3%
2	社会教育関係者	12	14.3%
3	生涯カレッジ受講者	2	2.4%
4	地域づくり関係者	6	7.1%
5	一般の方	10	11.9%
6	その他※	8	9.5%
7	無記入・未提出	18	21.4%
合計		84	100.0%

Q1.(3) 所属



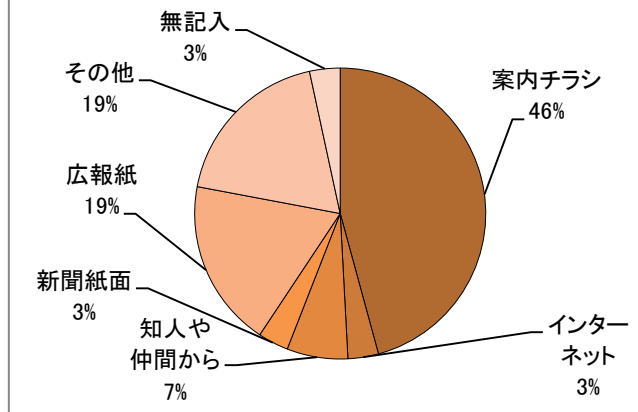
※老人クラブ役員、シルバー人材センター長、社会教育実習生

Q2. 本フォーラムを知ったきっかけ(複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	案内チラシ	27	45.8%
2	インターネット	2	3.4%
3	知人や仲間から	4	6.8%
4	新聞紙面	2	3.4%
5	広報紙	11	18.6%
6	その他※	11	18.6%
7	無記入	2	3.4%
合計		59	

※しらがメール、教育委員会からのお知らせ、県からの周知文書、職場での回覧

Q2.本フォーラムを知ったきっかけ

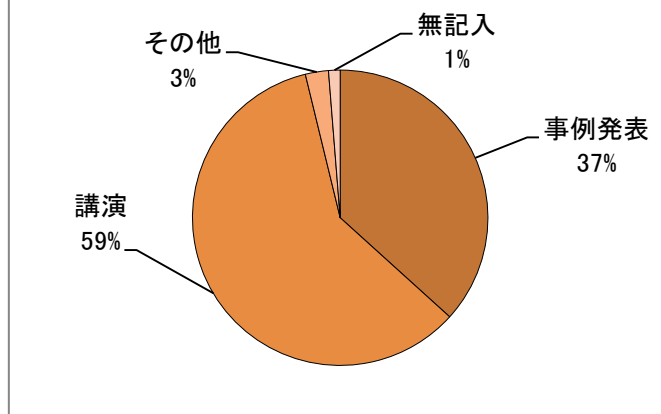


Q3. 何に興味を持たれたか(複数回答)

	方法	人数(人)	割合(%)
1	事例発表	29	36.7%
2	講演	47	59.5%
3	その他※	2	2.5%
4	無記入	1	1.3%
合計		79	

※事例の具体的内容、人生100年時代のヒントとして

Q3.何に興味をもたれたか

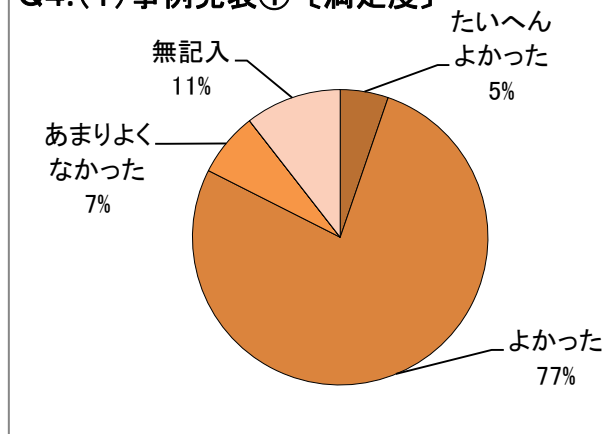


Q4. 事例発表・講演の感想 (感想等は別紙)

(1) 事例発表①:「市民学芸員・博物館パートナーシップ育成にかかる講座」(東近江市)の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	3	5.3%
2	よかった	44	77.2%
3	あまりよくなかった	4	7.0%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	6	10.5%
合計		57	100.0%

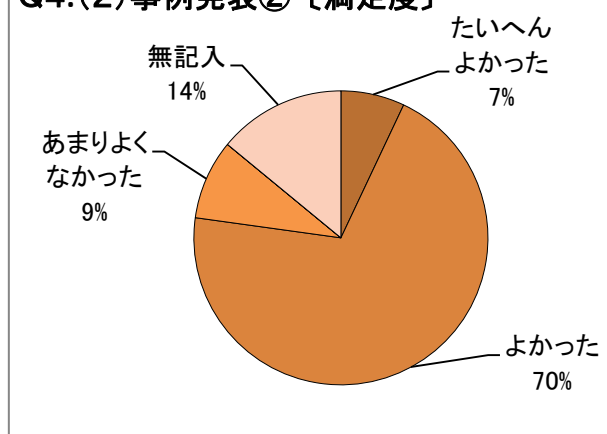
Q4.(1)事例発表① [満足度]



(2) 事例発表②:「こなん市民大学」(湖南市)の取組について

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	4	7.0%
2	よかった	40	70.2%
3	あまりよくなかった	5	8.8%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	8	14.0%
合計		57	100.0%

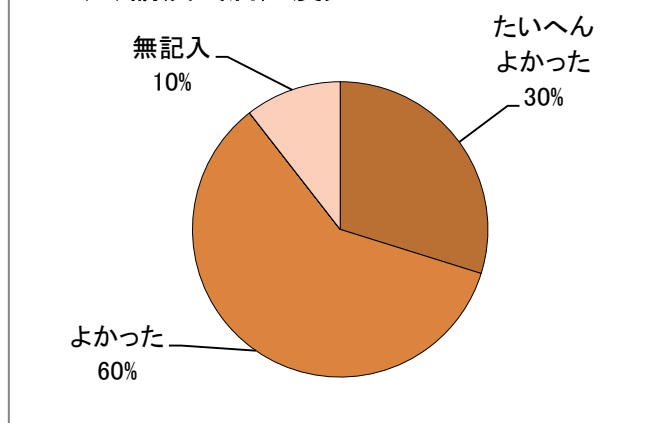
Q4.(2)事例発表② [満足度]



(3) 講演:『人生100年時代』と地域づくりについて

	方法	人数(人)	割合(%)
1	たいへんよかった	17	29.8%
2	よかった	34	59.6%
3	あまりよくなかった	0	0.0%
4	よくなかった	0	0.0%
5	無記入	6	10.5%
	合計	57	100.0%

Q4.(3)講演〔満足度〕



(Q5. 現在の活動・今後考えている活動は別紙)

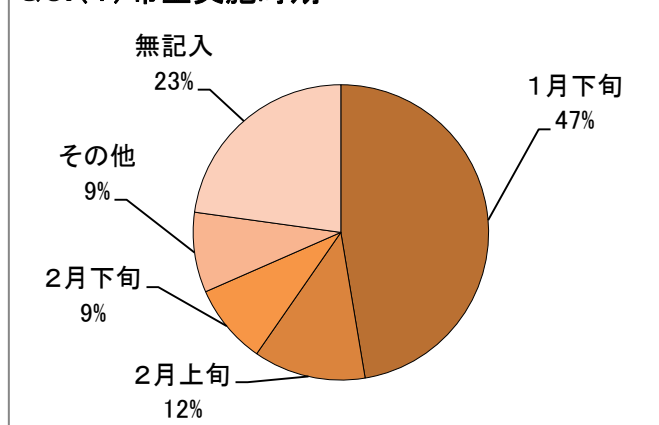
Q6. 本フォーラムの開催時期等

(1) 希望実施時期

	方法	人数(人)	割合(%)
1	1月下旬	27	47.4%
2	2月上旬	7	12.3%
3	2月下旬	5	8.8%
4	その他※	5	8.8%
5	無記入	13	22.8%
	合計	57	100.0%

※9月中旬、10月、早い時期に、いつでも可

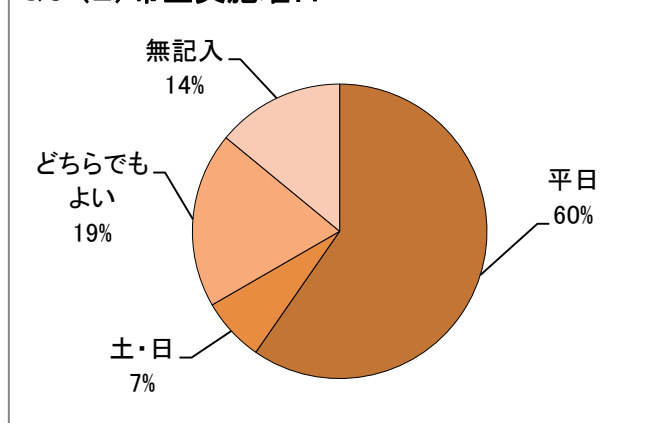
Q6.(1)希望実施時期



(2) 希望実施曜日

	方法	人数(人)	割合(%)
1	平日	34	59.6%
2	土・日	4	7.0%
3	どちらでもよい	11	19.3%
4	無記入	8	14.0%
	合計	57	100.0%

Q6.(2)希望実施曜日



(Q7. 本フォーラムに対する意見・感想は別紙)

平成30年度 生涯学習・地域づくり実践フォーラム 参加者アンケート感想等（抜粋）

Q4. 事例発表・講演の感想等（満足度：1. たいへんよかった 2. よかった 3. あまりよくなかった 4. よくなかった）

(1) 事例発表①：「市民学芸員・博物館パートナー育成にかかる講座」(東近江市)の取組について

満足度	主 な 感 想 等
1	事業の趣旨を「使命」として目指すところが、しっかりとしていてよい。
2	歴史活動と生涯学習をつないでいく活動。将来的方向性もしっかり考えられて良い取組と考えます。
2	新たな分野への挑戦が大切なんだと感じました。
2	市民を巻き込んだ人材育成により、全体のスキルアップが望める全体の底上げ、いいですね。
2	ロボットプログラミングは初めて経験するのが子どもということもあり、興味を持てば長く指導者、サポーターとして活躍してもらえる。また、イベント参加者も子どもがサポーターとして入ってくれるので、分からない事を聞きやすいのではないかと、また、若いうちから自分の力を発揮することで、地域への愛着、定着につながるのではないかと思いました。指導者、まちづくりというと、定年後の方をイメージしてしまいがちですが、若い力を育てる、とてもよいと思いました。
2	リーダー育成にきちんと取り組んでおられることが大事だと思う。
2	はっきりとした(具体的な)目的をもって事業を展開しておられるところがすばらしいと思う。
3	市民を巻き込むための工夫等、もっと説明してほしかった。

(2) 事例発表②：「こなん市民大学」(湖南市)の取組について

満足度	主 な 感 想 等
1	行政の垣根を超えた取組という視点がいいですね。
1	既存のものを活用した好事例だと思う。(一覧にするという工夫、行政の連携)
2	多数のコース(無料あり)驚きです。当町にもあれば、スタンプラリー、ポイント楽しみに参加したいと思いました。
2	既存事業を活用した事例の展開、部局を横断した取組、これからの活動に期待します。
2	市民側にとってみれば、1冊の冊子ですべてのイベント講座が載っていて、分かりやすく見やすいものだと思います。ただ、これから講座を受けて、自分が講座を企画し、講師になるには、もう少ししくみやしかけづくりが必要なのではないかなと思います。もともとスキルのある方であれば可能なのかもしれませんが。
2	よい取組の発表だったと思う。人を集めることの大変さもあると思いますが、長い活動を。庁内の連携がすてきだと思った。
2	市民大学の企画と市民との関係を知りたかった。
3	まだまだこれからの事例だったと思います。もう少しコンプリートしてからの発表の方がよかったのでは。

(3) 講演：「人生100年時代と地域づくり」について

満足度	主 な 感 想 等
1	「学び」「生涯学習」「社会教育」について再認識させてもらった。目標を共有し、人と人をつなぎ、地域づくりを進めたいと感じた。
1	地域課題の解決に向けた生涯学習事業への展開、実践が必要ということが分かった。そのための行政としてのかかわり方、対話と協働による学びの場づくりができるとよいと思った。
1	いいお話を聞かせていただきました。自分らしく生きていきたいと思いました。
1	地域でのかかわりの大切さを再認識できた。
1	生涯学習とは、地域づくりとは等々とはと非常に明解説明がよく、頭に入る。実践しようと思う。
2	学校・公民館・地域のつながりの大切さを痛感した。団塊世代であり、現在近い将来必須。講演のとおりになれば、成る様努めたい。
2	人と人を結ぶのは人。全てまちづくりにつながる。
2	0～100歳まで、一生涯を通しての学び。地域や人とつながることでの学びに年齢は関係ない。いきなりはやはりハードルが高いので、ファンリテーター、コーディネーター役が重要であると思いました。「学びたくない」人は少ないと思えます。「学びたいけれど…」という人をどんどん巻き込む人材が必要なのだと思いました。
2	私たちより若い人、受け継いでいってもらえる人々を、仲間に入れてもらえるようなヒントになったかな。
2	人生、子ども時代、学校時代、社会時代、定年・退職で過ぎてきましたが、今後の後半人生の生き方のヒントをいただきました。学ぶ場の提供は必要ですね。
2	実践と研究に裏付けされた内容で分かりやすかったです。ただ、公民館がなくなってしまった市としては、公民館以外の事例もあると良かったと思います。
2	人生100年時代、我々は人と人をつなげていくことの大切さ、そして、きっかけづくりをつくるのが生涯学習の第一歩となることがわかった。地道に進めていこう。
2	公民館機能が低迷しており、新たな事業を生み出すヒントを与えてもらったと思います。公運審、社教委員にとっても分かりやすい事例をあげてもらえたのでよかった。

Q5. 現在活動されていること、今後活動しようとしていること

主 内 容 等
男女共同参画推進員
シルバー人材センター理事
老人クラブの連合会会長
手話サークル&茶話のグループで、仲間でボランティア活動
小・中学生を対象としたバドミントン教室の企画運営、高齢者に「週1テニス」の実施
子ども食堂、地域のつながりサロン、隣保館活動への参加、活動しています。続けます。
ボランティア、皆さんに支えられて、今後も頑張っていきたいとおもいます。
ひと育てに地域のグループを形成している。
友愛活動をしている。
まちづくり協議会設立への情報交換。
定年退職後は、神社等、自治会の役員を終え、それをうけて農村の多面的利用(まるごと保全)、自治会の法人化、リサイクル事業など事業を集落でしております。
シェアイベント(古着、日用品等)、役場・再生保護女性会共催(会員参加)、子ども食堂・ふれあい交流事業(高齢者自立、昼食づくり)退職後、在宅となり、自身の健康、脳活性化のためにも町事業に参加することにより懇親できるので、できる(可能な)ことを活動したい。
地域づくりと社会教育の連携を検討中である。
これから考えたい。

Q7. 本フォーラムに対する意見・感想等

主 内 容 等
地域づくりと生涯学習のつながりの理解が深まった。
事例、講演のとおり近づければ。成るよう微力、参加に努めたい。(集まることに楽しい、学び・結び・交わる・発信)
このようなフォーラムを繁く催してほしい。受講生同士の交流ができるようなアドバイスができないだろうか。例えば、隣り合わせた人などと。それには受講生の理解がいるが。
小グループに分かれて、発表者との意見交換やら参加者同士の意見交換ができる場があればいいのではないかな。
聴いている範囲では理解できたが、地元でどう実践していくか。関わりを持つための仲間をつくるのが大事だと考える。
地域の中で活動していますが、町民として参加したいので少し(行政の部分がどう理解すればいいのか?)話を聞いて自信が付き、活動を進めます。
高齢者学級のあり方について、「自らが計画を立てて学びのプログラムを立てる。時に学級生が自らのことばを伝える。」ということは、大変参考になった。
リレー講演(研修者と実践者)も考えてほしい。
タイムリーな内容であり、次回も期待したい。